

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	高齢社会対応既存交通補完研究事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	都市計画課			
施策	1-8	利便性と快適性を重視した公共交通機関の整備充実		主管課長	長橋 祐之			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	既存の交通機関利用では十分な移動ができない地域の高齢者	意図	道路状況や地域性を考慮した移動手段が提供され、高齢者が外出しやすくなる。
事業内容	高齢化社会の進展に対応し、地域の公共交通（路線バス、ぐりーんバス）利用者と、福祉的移動サービス（福祉タクシー等）利用者との間に位置づけられる新たな移動策を研究する。			
事業開始から現在までの状況変化	既存の公共交通手段より、さらにきめ細かな移動支援策が望まれている。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		研究成果の実用数	0	0	0	団体	↑↑↑
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						地域移動支援の新たな方策として、定時定路線運行以外の形態による、地域の状況に即した交通手段の検討を含め、交通に不便を感じている地域の方々と協議をしている。
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		414,600		686,500			
事業費（b）（円）							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)		0.06		0.10			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H28)の改善計画	情報収集及び地域住民との協議の場を設ける。	取組の課題	地域住民の主体的な姿勢が重要であり、持続可能な交通手段を検討する必要がある。
今年度(H28)に実施した取組	情報収集及び地域住民との協議実施。	今後の改善計画	有識者を交えた地域住民との勉強会を開催し、課題の整理及び持続可能な交通手段の検討を行う。